

隼人港周辺整備の展望と隼人道路活用



植山 太介 議員

問 県営隼人港周辺整備の今後のあり方について、どう考えるか。

答 隼人港の事業が再開されるよう、その周辺整備について、関係部署と協議する。

問 市道小田小浜線を加治木ICに通す計画の進展はどうか。

答 隼人道路の4車線化に向けた動きなどがあり、始良市との協議は平成29年8月を最後に行っていない。

問 国道10号（小浜〜始良市境）ラッシュ時の渋滞緩和策として隼人道路を活用し、時間・区間を区切り、無料化や割引対象とする案はどうか。



国道10号線小浜付近の渋滞

その他の質問
・市長公約「アタタコ」ロナに向けた市独自の商工業者向け融資制度の創設について



工業用水道事業の財政改革を

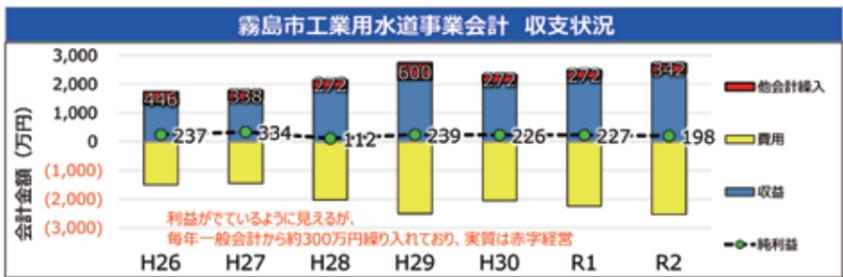


宮田 竜二 議員

問 霧島市工業用水道事業経営戦略では、「収益でまかなえない経費や投資に対しては、一般会計からの繰入を行う方針であるが、3年後の経営戦略見直し時期までに水道事業への統合等も含めた運営方針の検討を行う」となっている。統合する場合の工程はどのように進めるのか。

答 本年度は国・県との協議を行う。来年度以降に使用者を含む外部委員会における意見集約を経て、運営方針を決定していく。

その他の質問
・霧島市新水道ビジョン（経営戦略）について



第二次霧島市総合計画の将来像の実現に向けて



今吉 直樹 議員

問 霧島市の将来像の、「人によさしく、人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう多機能都市」の実現に向けて、3年間実施した「Kirishima 未来会議支援事業」の成果はどうか。

答 1年目は、市内全域から参加者を募集し、それぞれの地域で感じている身近な課題解決のためのアクションプラン作成と、それらを実践に移す取組を行った。2年目・3年目は、横川地区を舞台に、地域が持つ魅力や資源を生かし、課題解決や理想の未来像を示すアクションプラン「横川未来計画」を作成し、参加者それぞれが主体的に活動し、自走できる体制づくりができた。



「横川未来研究室」講座の様子



宿泊施設に対する今後の観光振興策は



藤田 直仁 議員

問 新型コロナウイルス感染症の拡大により、影響を受け続けている宿泊施設などの観光業全般に対するこれまでの対応と、今後の展望についてどのように考えているか。

答 修学旅行を対象にした誘客事業は、県内外の多数の学校から大きな反響を得て、宿泊施設以外の体験メニューやお土産等の観光関連産業にも経済波及効果が見られた。更なる経済効果を図るため、今後も事業を継続する予定である。また、それ以外に実施した事業のいづれも大きな反響があった。今後も新型コロナウイルス感染症状況及び国・県の施策等を注視し、効果的な事業を実施する。



かごしまママ



みまもりあいアプリの活用で行方不明者の早期発見を



竹下 智行 議員

問 みまもりあいアプリの活用はどうか。

答 「みまもりあいアプリ」とは、認知症の方などが行方不明になった際、捜索依頼や発見・保護等の連絡を、個人情報に配慮しながら行えるスマートフォンサービスのアプリである。多くの方がアプリを利用することで、効果的な見守りが可能となる。今後、認知症の行方不明者の早期発見、保護に繋げるため、アプリの周知、利用促進に努めていく。

問 生活困窮者の家庭に食材配布を行う場所を増やすために、霧島市として



フードバンクの食材配布の一例

生活困窮者の家庭に食材配布を行う場所を増やすために、霧島市として



安心な生活環境を守るための道路環境整備を



平原 志保 議員

問 霧島市は県内でも特に道の狭さなどで道路事情が悪いと言われる。市長は選挙で市内を走り、今回どのように感じたか。

答 幅員が狭く離合が困難な箇所や、急カーブで見通しの悪い箇所などが見受けられた一方、4年前に比べ、各種計画を元に、整備が順調に進んでいる。

問 霧島総合支所前は大型車両の通行があるため、登下校時に危険である。支所駐車場の一部を歩道にできないか。

答 県道であり、近隣の建物や通学路としての使用状況などを整理し、道路の連続性に配慮した全

問 震度5レベルの地震によるブロック塀倒壊等で通行不能と予想されている住宅エリアは市内何箇所か。

答 ブロック塀倒壊等で通行不能と予想される住宅エリアの数は、把握していない。

その他の質問
・第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会における宿泊、交通機関について

